

## ニューズレター No.115

発行人 谷川 裕稔

2023(令和5)年4月17日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.115をお届けいたします。今回は、

- (1) 第18回全国大会のご案内
  - (2) 役員選挙について
  - (3) 大学 e ラーニング協議会(UeLA)との合同フォーラム「UeLA&JADE 合同フォーラム 2023」について
  - (4) 第10回中国・四国支部大会開催報告
  - (5) 第14回九州・沖縄支部大会開催報告
  - (6) 東海・北陸支部 2022年度支部大会開催報告
  - (7) UeLA&JADE 合同フォーラム 2022 開催報告
  - (8) 第11回関東・甲信支部大会開催報告
  - (9) 編集委員会からのお知らせ
- についてお知らせいたします。

### 第18回全国大会のご案内

第18回全国大会は、2023年8月22日(火)～8月24日(木)に江戸川大学で開催することが決定されました。詳細は日本リメディアル教育学会ホームページ内の[第18回全国大会特設ページ](#)からご覧いただけます。

テーマ: 予測困難な社会を切り拓くためのリメディアル教育

初等中等教育を中心に、予測困難な時代を生き抜くために新しい学力観の議論が行われ、知識・技能に関わる学びから、態度・姿勢・人間性を含む学びが重要となっています。接続する高等教育では、予測困難な社会を切り拓くために学修者本位の教育が示され、学生の到達すべき学習目標の明確化と、それに向かって主体的に学習する態度や課題を発見・解決していく能力の養成が重要とされます。一方で、こうした課題解決を行うためには、基本的な知識や技能の習得も必要不可欠です。このため、解決する課題や到達する学習目標を明確に意識した上で、知識や技能の習得を同時に図れる、一体的な教育システムの確立が求められています。

本大会では、知識の定着や基本的な技能養成のためのリメディアル教育の観点から脱却し、新しい社会を切り拓くための学びを意

識した中での新たなリメディアル教育の議論を展開します。具体的には、実効的な教育プログラムとして、地域や社会を題材とした実践的なフィールドを使った課題解決型の学びを題材とした大会企画を通じて、リメディアル教育を改めて考え直していく機会とします。また、本学会の特徴である教科系、学習支援、ICT活用等の部会企画を通じて、学生が十分な時間をかけて主体的に学習して予測困難な社会を切り拓ける学修者本位の教育の本質について議論していきます。

会場: 江戸川大学(〒270-0198 千葉県流山市駒木 474)

#### [アクセス](#)

\*新型コロナウイルス感染状況により会場校での開催ができない場合はオンライン開催となります

日程: 2023(令和5)年8月22日(火)～24日(木)

重要な期日:

4月中旬 各種申込みの開始

- ・一般研究発表申込み(口頭発表、ポスター発表)
- ・参加申込み(全国大会、情報交換会)
- ・企業展示・広告掲載の申込み

5月16日(火)17:00 一般研究発表(口頭発表、ポスター発表)の申込み締め切り

6月1日(木)一般研究発表の採否の通知(予定)

6月6日(火)17:00 企業展示の申込み締め切り

6月27日(火)17:00 予稿集原稿の提出締め切り

7月1日(金)17:00 申込みキャンセルによる返金申し出の期限

8月1日(火)17:00 参加申込み(郵便振替の方)早期割引期間受付締切(入金締切8月2日)

8月4日(金)17:00 参加申込み(クレジット支払いの方)早期割引期間受付締切

8月17日(木)参加申込サイト再オープン

お問合せ先: 日本リメディアル教育学会 大会ヘルプデスク

[jade-desk\\_at\\_bunken.co.jp](mailto:jade-desk_at_bunken.co.jp) ( \_at\_ をアットマークに書き換えてください)

## 役員選挙について

役員候補者選出規程第3条により、以下の委員会が設置されました。

### ・選挙管理委員会

委員長 田島ますみ(中央学院大学) 会員

委員 佐藤尚子(千葉大学) 会員

2023-2024 推薦人名簿作成委員会が発足いたしました。

### ・推薦人名簿作成委員会

委員長: 谷川 裕稔(四国大学短期大学部) 会員

委員 小野田 正之助(近畿大学) 会員

委員 矢島 彰(東大阪大学) 会員

### ・選挙日程について

令和5年6月中旬頃 会員への選挙投票用紙発送

令和5年7月8日 投票用紙返信締切(必着)

詳しくは、後日ご案内いたします。

## 大学 e ラーニング協議会 (UeLA) との合同フォーラム「UeLA& JADE 合同フォーラム 2023」について

大学 e ラーニング協議会 (UeLA) との合同フォーラム「UeLA& JADE 合同フォーラム 2023」を開催予定です。

開催日: 2024 年 3 月上旬

開催校: 公立千歳科学技術大学

## 10 回中国・四国支部大会開催報告

2022 年 11 月 26 日(土)、四国大学を開催校として、「コロナ禍での授業実践—リメディアル教育における授業の価値を再考する—」を大会テーマに、第 10 回中国・四国支部大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、過去 2 大会はオンラインでの開催でしたが、3 年ぶりの対面での開催となりました。支部大会の参加者は、24 名でした。

■日時: 2022 年 11 月 26 日(土) 13:00~16:20

■開催方法: 対面開催(全スケジュール)

■大会実行委員長: 四国大学 南部匡彦

■プログラム:

開会の挨拶 谷川裕稔(本学会会長)

### 第1部 研究発表

司会: 藏前知美(松山東雲女子大学)

①田中忠芳(金沢工業大)「日本の数物系科学教育の課題」

②西誠(金沢工業大)「授業の ICT 化に向けた高校教員向け授業支援の取り組み」

③三好徹明(関西国際大)「英語教育・国語教育で育成したい言語観とは—教科・科目に固有の「見方・考え方」をふまえて—」

### 第2部 ラウンドテーブル

司会: 南部 匡彦 (四国大学)

「With コロナ時代の新しい支部大会の形を目指して—地域から学会運営を改めて考える—」

### 【報告】

①秋山英治(愛媛大学)「JADE 中国・四国支部会のあゆみと今後の展望」

②巽靖昭(久留米工業大学)「JADE 九州・沖縄支部会の現状と課題」

### 【パネル討論】

登壇者: 巽靖昭(久留米工業大学)、米満潔(佐賀大学)、秋山英治(愛媛大学)

閉会の挨拶(秋山英治 中国・四国支部長)

※大会終了後に、中国・四国支部大会を開催しました。

第1部の研究発表では、3名の先生方にご発表いただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、教育が大きく変わろうとしている現在において、今後のリメディアル教育のあり方を考える上で、ひじょうに示唆に富むご発表でした。

第2部では、「With コロナ時代の新しい支部大会の形を目指して—地域から学会運営を改めて考える—」をテーマに、ラウンドテーブルを行いました。本学会の会員数が減少しているなかで、今後支部会をどのように維持、また発展させることができるか、参加者の皆様からも多くのご意見が出され、活発な議論を行うことができました。

支部大会開催にあたっては、大会実行委員長の四国大学の南部匡彦先生に、たいへんお世話になりました。ラウンドテーブルでは、九州・沖縄支部から支部長の巽靖昭先生と米満潔先生にお越しいただき、ご報告またご登壇いただきました。ご発表いただきました先生方、ご参加いただきました皆様にもたいへんお世話になりました。深く感謝申し上げます。

令和5年度は、12月上旬に、山口県下関市で、九州・沖縄支部大会と合同で支部大会を開催する予定です。詳細は、決定次第、本学会のWEBサイトにてお知らせいたします。中国・四国支部会員の皆様、また九州・沖縄支部会員の皆様はもちろんのこと、本学会の会員の皆様には、お一人でも多くの方にご参加いただきたいと思います。ご参加をお待ちしております。

(文責: 秋山英治)

## 第14回九州・沖縄支部大会 開催報告

日本リメディアル教育学会 第14回九州・沖縄支部大会を対面形式で開催しました。12件の発表と、27名の参加がありました(含発表者)。

- 日時: 2022年12月10日(土) 13:00~17:35
- 場所: サンメッセ鳥栖(佐賀県鳥栖市)
- 参加人数: 27名
- [プログラムはこちらから](#)

(文責: 巽靖昭)

## 東海・北陸支部 2022年度支部大会開催報告

日本リメディアル教育学会東海・北陸支部 2022年度支部大会を、教育システム情報学会東海支部との共催により、対面形式で開催しました。プログラムは[こちら](#)です。

- 日時: 2022年12月17日(土) 13:30~16:35
- 場所: 名古屋都市センター(愛知県名古屋市中区)
- 参加人数: 21名(内発表者7名)
- 共催: 教育システム情報学会東海支部研究会

(文責: 津森伸一)

## UeLA&JADE 合同フォーラム 2022 開催報告

2023年3月4日(土)、5日(日)、大学eラーニング協議会(UeLA)と日本リメディアル教育学会の合同フォーラム「UeLA&JADE 合同フォーラム 2022」を創価大学(東京都八王子市)で開催しました。テーマは「DXによる学習成果の可視化がもたらすもの、何ができるか、何が変革できるか」で、1日目にワークショップ1件・基調講演1件・特別講演2件・大学の事例報告2件、2日目にGoogle Classroomの初等・中等教育での利用事例報告2件、10件の口頭発表(5件×2教室で並行実施)を実施しました。講演や報告および発表後は、登壇者と参加者の間で活発な質疑応答が行われました。現地参加者は66名、Zoom参加者は103名でした(※2日間通しての参加者は1名としてカウント)。このフォーラムのプログラム等はUeLAのサイト(<https://uela.jp/event/forum2022/>)をご覧ください。

(文責: 米満潔)

## 第11回関東・甲信支部大会開催報告

2023年3月19日(日)、JADE第11回関東・甲信支部大会を、下記のプログラムでzoomによるオンライン開催にて実施しました。参加者は27名でした。

13:00 <開会・総会>

13:10 <講演>

「大学経営から見た学習支援」

大村芳昭先生(中央学院大学学長)

高松正毅先生(高崎経済大学経済学部前学部長)

座長:窪田敦之(順天堂大学)

14:30 <会員による発表>

14:30~15:30 座長:佐藤尚子(千葉大学)

14:30 阿部牧子(東京富士大学)

「Increasing Autonomy through Technology—機械翻訳を使った試み—」

14:50 中尾桂子(大妻女子大学短期大学部)

「メタ認知活性化における討論練習量と性格特性の影響の可能性—2022年度の実践から—」

15:10 田中啓行(中央学院大学)

「大学1年生が文章のテーマから受ける印象—体験文・説明文・意見文を資料として—」

(休憩)

15:40~16:20 座長:大野早苗(順天堂大学)

15:40 小川健(専修大学)

「途中まで取り組んで送信後に編集できる課題の方法とその意義」

16:00 坂東実子

「電子書籍等の誤字誤変換問題への注意喚起および対策ドキュメントの実践報告」

16:20 閉会

この改正により、「会員の本」で紹介できる書籍は、一般に市販されていない場合でも、「それに準ずる」と編集委員会が認めれば投稿することが可能です。ただし、「それに準ずる」かどうかについては、事前に編集委員会にてお問い合わせください。

(文責:中園 篤典)

## 会費納入のお願い

2023年度の会費納入は、5月31日までとなっております。まだされていない方は期日までに会費の納入をお願いいたします。過年度の年会補を納入されていない方は、過年度の年会費の納入をお願いいたします。

なお、2年間会費が未納の場合は、負債を負って退会となります。再度入会を希望する場合は、未納(負債)の年会費の納入が必要となります。入金状況は、ホームページのマイページからご確認ください。

## 会員情報変更のお願い

新年度、所属先・連絡先などの変更がありましたら、すみやかに学会のホームページにあります、マイページから変更をお願い致します。

## 会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【編集】藤田 大雪

## 編集委員会からのお知らせ

2023年3月26日のJADE編集委員会で『リメディアル教育研究』の「投稿規程」が一部改正されました。投稿種別「会員の本(新刊紹介)」の内容を以下の通り変更しました。

リメディアル教育に関連する著作物(書籍に限る)の紹介、原則として会員による著作物で、ISBN等があり誰でも入手可能なものあるいはそれに準ずるもの。編集委員会が認めれば、会員外の著作物も可。